

第 269 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 7 年 7 月 8 日（火）開催 会場：Tech Hub Yokohama 】

1. codeless technology株式会社 代表者 猿谷 吉行 氏 (<https://codeless-tech.com/>)

【住所】東京都千代田区九段南 1-5-5 九段サウスサイドスクエア 4 階 402 【設立】2020 年 4 月

【資本金】38,380 千円

【事業概要】弊社のミッションは、「世界一簡単な DX の第一歩を実現する」ことで、そのためのプロダクトとして「そのまま DX」を提供しています。「そのまま DX」は、使い慣れた帳票を送るだけで入力フォームを自動生成し、既存の業務フローを変えずに導入できる柔軟なシステムです。煩雑なデータ収集や分析を一元化し、DX 推進に必要な基盤を迅速に整備します。さらに収集データに基づき企業独自の DX 戦略を構築し、意思決定のスピードと精度を高めます。既存ツールとのシームレスな連携や AI による高度な分析と連動することで、将来的な需要予測や多様な顧客ニーズへの迅速な対応を可能にします。現場の声を最大限に活かした運用ができるため、企業規模を問わず誰でも簡単に始めることができる点も大きな魅力です。業種問わず幅広い用途に対応する「そのまま DX」で、DX の最初の一步をスムーズに進めて、データ活用ができる世界を作っていきます。

【コメント】猿谷社長は今まで店舗や工場等の多くの現場を経験してこれ、ご苦労が多かったからこそ、現場でのシステム導入の必要性やデータ管理の大切さを痛感されたようです。その結果、業務フローを変えずにデータを簡単に管理するサービスを発案されました。翌日から運用が開始出来ることや世界中の言語にも対応出来るという点も最大の強みとなります。今回、DX の成功事例を作りたい「お試しユーザー」、日本の DX を世界一簡単にしたい「販売パートナー」、サービスを連携して多くの課題解決をしたい「協業パートナー」の支援を求めています。



2. 感性 AI 株式会社 代表者 秋山 正晴 氏、発表者 事業部 チーフ 宮崎 諒 氏

(<https://www.kansei-ai.com/>)

【住所】東京都調布市小島町一丁目 1 番 1 号 UEC アライアンスセンター309 号室 【設立】2018 年 5 月

【資本金】45,000 千円

【事業概要】京王電鉄×電気通信大学による大学発ベンチャー企業。触覚や視覚といった人間の五感の感覚を定量化する AI 技術に基づく Web サービスを展開しており、ものづくりをご支援させて頂いております。「空間印象の可視化」「〇〇心地（噛み心地）」など広い業界様との親和性がある技術です。

【コメント】同社の特徴は人々の感性情報を学習した、国立大学法人電気通信大学坂本真樹研究室の長年の研究に裏付けされた独自 AI を活用。従来、人の印象や感覚を評価する時には、何十問、何百問もの長いアンケートが必要で、負担の大きいものでした。この独自 AI を使用することで、単語、文章、オノマトペ、画像、物性データなどの入力情報から、AI が質感（視覚+触覚）、味覚、パーソナリティの 3 つの切り口で、感性的な印象を数値化・評価を瞬時に行えるようになりました。オノマトペとは、事物の様態を言語音によって象徴的に表す言葉である擬態語を総称したもので、今回、感性と AI を活用した、新規事業を共創する企業を求めています。



3. 株式会社HUB-CONNe 代表者 千葉 龍太 氏発表者 COO 道添 元美 氏

(<https://kanakei.jp/hub-conne/>)

【住所】神奈川県相模原市中央区中央 3-12-3 相模原商工会館本館 1 階 【設立】2025 年 1 月

【資本金】1,000 千円

【事業概要】弊社は 2013 年に創刊した地域経済紙「かながわ経済新聞」が今年設立した新会社です。このほど台湾ベンチャーと連携し、新聞記者による取材記事や企業のホームページ、企業に眠るチラシなどの文字情報などをベースに独自 AI 動画生成エンジンを使って、ショート動画を作成するプロモーション支援サービスを始めました。現在、ビジネスモデル特許も出願中。動画は用途に応じて、15秒・30秒・60秒が選択可能。AI アナウンサーの有無も選べ、オプションで英語、中国語、韓国語、ベトナム語にすることも可能です。企業側のメリットとしては、▽新聞記者による取材を受けるだけで魅力的な記事だけでなく動画も完成する▽社内にあるチラシ、マニュアルなどを動画化できる▽圧倒的な低コスト・短時間で動画コンテンツが作成できる（動画大量生産時代に対応）▽外国人従業員や海外企業に伝える動画などが制作できる—といったことが挙げられます。

【コメント】同社を設立された背景としては、多くの中小企業が素晴らしい技術や製品を持っているのに情報配信が出来ていない、そして広報部署（人材）のある企業がほぼないという現状でした。だからこそ“声を届ける仕組み”が必要だと感じ、この新しいビジネスモデルを発案されました。一般的に広報にはノウハウが必要で、しかもハードルが高い。しかし一方で経営課題を解決する鍵にもなります。ベテラン記者にわずか 1 時間の取材を受けるだけで、費用対効果が高く、時間の節約にもなり、情報が幅広く届くようになります。今回、行政、産業支援機関、団体、民間企業とのご接点を希望されておられました。



【感想】ここ数日は猛暑が続いて、会場参加の方々に会場までお越し頂くのは恐縮でしたが、開催直前までお申し込みが入ってきて、皆さんの関心が高いことを感じました。交流会では、盛んな情報交換がされていました。今回の登壇企業はいずれも独自の AI を活用しており、新しいマーケットを構築されようとしていて、今後の展開が楽しみです。もし発表をご希望とされる方がおられましたら、お早目にお申し出を頂けると幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

8 月は夏休みのため、お休みさせて頂きます

第 270 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時：令和 7 年 9 月 9 日（火）13:30～15:00

■会 場：Tech Hub Yokohama

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード
(株)TNP スレッズオブライト 井 汲 美 樹